

「平成24年度岐阜高専中核人材育成塾」

平成22年度より岐阜高専が開講しておりました標記の研修を岐阜高専地域連携協力会との共催事業として実施することになり、9月4日に同校の多目的ホールで開講しました。

本研修では、講師をものづくりについての豊富な経験や知識を有する、岐阜高専産学官連携アドバイザー（岐阜高専OB）が務め、明日からでも自分の職場で実践できるように“講義”と“演習”を交え、分かりやすく解説します。

研修は、「5Sと見える管理で理想の工場づくり」「製造現場における問題解決手順」「現場管理者のためのコストダウン活動」「初歩から始める品質活動」の4テーマで11月8日まで約3週間おきに開講されます。

今年度から、岐阜県や経済産業省等の外部の助成金が受けられなくなり、有料（1テーマにつき会員5千円、非会員8千円）での研修になりましたが、各テーマ30名の定員を超えた4テーマで137名の申し込みがあり、第1回目の「5Sと見える管理で理想の工場づくり」には34名が受講しました。



「5Sと見える管理で理想の工場づくり」の受講風景